



特別賞

設計部門



設計部門

作品概要

作品名—— 都立シンボルプロムナード公園
 所在地—— 東京都江東区青梅1丁目
 発注—— 東京都港湾局
 設計—— 株式会社森緑地設計事務所
 設計協力—— 古川信一 構松勤 小林弘明 シビルP.E.Net
 監理—— 東京都港湾局
 施工—— 東武緑地株、箱根植木株、かたばみ興行株、住友林業緑化株、株松樹園、株石勝エクステリア、北部緑地株 他
 設計期間—— 平成19年1月～27年7月
 施工期間—— 平成21年10月～平成28年3月
 規模—— 約12ha
 主要施設—— セントラル広場、テレポート広場、芝生の広場、生きものの谷、園路、ミスト噴水など

作品評

本作品は、東京都の台場・青海・有明地区を結ぶ歩行者ネットワークの中心軸となり、総延長約4kmの中に広場や遊歩道、隣接する施設と一体的な空間を整備する海上公園の基本計画・基本設計・実施設計を行った業務である。

審査の過程では、臨海副都心の骨格となる公園であることから、デザインテーマである「絵になるシーン」というのは、各エリアの場面だけでなく、公園全体を通してトータルなデザイン構成の説明が求められるとの指摘があったものの、応募者が長年に渡って多様なニーズを受けとめて、各エリアの個性化を図りながら全体での調和を実現していることが評価された。また、一体的な空間とするための民間事業者側との緊密な調整を行った経緯や、空間デザインとともに様々な利用やイベントを支えるハード整備を両立している公園であることも評価され、特別賞の受賞となった。



①商業施設と一体化した空間 ②自由の気取ったアイストップとする並木 ③レインボーブリッジをアイストップとする夜の園路 ④セントラル広場 ⑤春のセントラル広場 ⑥アジサイによる斜面修景 ⑦街區のビルを背景にした緑の景観 ⑧⑨フリーマーケットとヨガのイベント

都立シンボルプロムナード公園

株式会社森緑地設計事務所

山元 誠・紀伊国友紀・棚田聡司・藤田 一

都立シンボルプロムナード公園は臨海副都心の台場、青海、有明地区を結ぶ総延長約4km、平均幅員約80mの広場と遊歩道からなる公園です。本業務は暫定的に整備されていた青海1丁目地区（面積約12ha、延長約1.5km）を周囲で進む民間事業者によるまちづくりとの調整を図りながら、民間の敷地と一

体となって利用できる公園を設計することでした。

公園と民間の敷地を隔たりのないにぎわいの場とする

シンボルプロムナード公園と隣接する商業・業務地区とを一体的ににぎわいや憩いの場として整備するために、基本設計から実施設計段階を通じて民間事業者との間できめ細かい設計協議を行いました。その結果、隣接地に建設されたダイバーシティと公園とは境目のないひとつの空間として、日々多くの人々ににぎわっています。

歩くことが楽しくなる園路をつくる

—絵になるシーンを意識した景観づくり

シンボルプロムナード公園には臨海副都心の歩行者ネットワークの中心軸としての役割があります。施設と施設をつなぐためだけの園路ではなく、歩くことが楽しくなる園路こそ必要と考え、そのための演出として、東京タワーやレインボーブリッジなどのモニュメンタルな景観資源をアイストップとしたダイナミックなビスタや周囲の建築物を背景として取り込んだ公園のみどりの景観や季節ごとに園路を彩る草花など、絵になる

シーンを意識した景観設計を行いました。

イベントを意識した空間づくりとインフラ整備

様々なイベント利用を想定した空間づくりとイベントに対応した資材運搬車両の動線をはじめとするインフラの整備を行いました。セントラル広場や芝生広場、幅員20mの通路では年間を通じて様々なイベントが開催されています。